



山口県立宇部総合支援学校

校訓「共に生きる」

学校紹介

本校は、昭和25年に精神薄弱児施設として開設した「ときわ学園」を前身とし、昭和40年に山口県初の養護学校として開校した、主に知的障害を有する児童生徒が学ぶ特別支援学校です。平成20年度からは、校名が「宇部総合支援学校」となり、高等部では「普通科」に加えて、職業自立を目指す「産業科」が設置されました。令和4年度からは、「産業科」を「就業実践科」に改編し新たな職業教育に取り組んでいます。平成27年度（50周年）には校訓“共に生きる”を制定し、今年度は開校60年になります。

今年度、高等部には139名（1年生：普通科45名・就業実践科5名 計50名、2年生：普通科37名・就業実践科8名 計45名、3年生：普通科35名・就業実践科9名 計44名）の生徒が在籍しています。

特色ある取組

I 作業活動を中心にして、働く力や生活する力を高めるため、勉強に励んでいます！

○ 作業学習（普通科）＜11の作業班＞

- ・作業活動を通して、職業生活に必要な身の処置能力・社会性・作業態度・作業能力を養います。

農業A、農業B、園芸、紙工、木工、環境整備
リサイクルクラフト、テキスタイル、ウエス
ハンドクラフト、地域活動



作業学習
(木工)



作業学習
(テキスタイル)



職業実践
(農業)

○ 職業実践（就業実践科）

- ・企業就職に必要な知識・技能・態度を身につけ、将来社会人として地域や社会に貢献することを目指します。

＜5種目＞

流通・サービス、農業、介護福祉、ビル清掃、ものづくり

II 企業での実習を数多く重ねて、働く力を高めています！

- 卒業後の自立と社会参加を目指した学習活動の一環として、企業での実習に力を入れています。普通科は2年生の6月と10月の2回、就業実践科は1年生の10月及び2年生の6月と10月の3回、定期実習を行っています。1回の実習期間は、2週間を基本にしています。また、3年生は希望する進路先で雇用を目指して随時実習を行います。実習を通して、働くことの大切さや社会生活を行う上でのルール等を学び、卒業後の社会人としての適応性を高めるとともに、卒業後の進路を考えるよい機会になっています。

障害のある生徒の実習の受け入れに、ぜひ御協力ください！！

III 地域参加や地域貢献に積極的に取り組んでいます！

- 作業学習や職業実践等での学習成果を活かして、近隣の公共施設や学校、企業、店舗等での清掃活動に中学部・高等部の生徒が取り組んでいます。

地域の方々から感謝され、生徒達は達成感や自己有用感が高まっています。

- 今年度も引き続き、地元企業や地域人材とも連携しながら、「地域に開かれ、地域に親しまれる学校」として地域参加や地域貢献に積極的に取り組みます。



地元自治会のごみ分別への参加

進路状況

＜令和4年度＞	39名（普通科：33名 産業科：6名）	就職：16名（普通科：10名 産業科：6名）
＜令和5年度＞	36名（普通科：33名 産業科：3名）	就職：10名（普通科：8名 産業科：2名）
＜令和6年度＞	51名（普通科：40名 就業実践科：11名）	就職：14名（普通科：4名 就業実践科：10名）

問合せ先

〒759-0213 宇部市黒石北五丁目3番20号

TEL：0836-41-4036

FAX：0836-41-8369

E-mail：580.ube-sinro@g.ysn21.jp